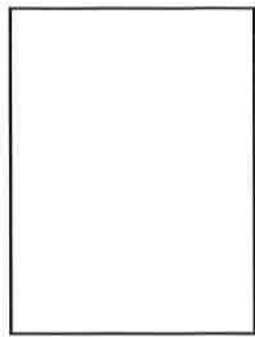




理事長就任の
ご挨拶

池田 直樹



本年三月一日付で、ワークスユニオンの理事長に就任しました。

下野英世前理事長が本年一月五日急に亡くなられました。いつまでも理事長不在のままでは法人は動けなくなることから、二月十三日に急いで理事会が開かれ、理事の互選で私が理事長に選ばれました。他の意見も出されましたが、もめることでもなく、私が引き受けさせて頂きました。

私はずっと以前に山川宗計さんの勉強会に参加させて頂き、ワークスユニオンの理事にも声を掛けて頂き、理事としてワークス

ユニオンを見守って頂きました。利用者の方々は、自分たちの話を聞いてほしい場所がある。でもこのワークスユニオンを素晴らしい場所にするか、たいくつで面白くないものにするか、どちらになってもいいかは個々の利用者の皆さんの気持ちで決まっています。

職員の人には、どんどん自分の気持ちをぶつけて下さい。職員の人たちは、耳を傾けてくれるはずですよ。利用者の希望が全てかなうわけではありません。でも、職員の人たちは利用者から「夢」を語ってもらおうのことが、とってもうれしいのです。そして時間をかけてその夢に向かって一緒に頑張ろう、という気持ちになります。

保護者の皆さんも個々の利用者の夢の実現に後押しして下さい。そして一歩でも夢に向かって頑張っている姿に「よくやった」「その調子」と拍手して下さい。利用者には保護者が喜ぶ顔を見るのが本当に待ち遠しい

のだと思います。

そして、ユニオンは保護者からの声を受け止めて行かなければならないと思います。もちろん受け止めても、全て「受け入れる」わけではありません。保護者の方々とコミュニケーションをとりながら、全ての利用者のために連携していく必要があると思います。

最後に職員の方々に、毎日ご苦労様です。本日に苦労様です。理事会では、職員の方々に困らせようと思いません。質問もあつたと思います。それがいいんです。この雰囲気を楽しんで、毎年理事会には、予定をやりくりして参加させて頂きました。

事業所の仕事はきついなと思います。でも、自分の担当した利用者が、あるとき自分に突然話しかけてくれたり、自分の夢を語ってくれたりしたら、肉体的ななしんどさはどこかに吹っ飛んで行ってしまうのではない

でしょうか。「これが欲しかったんや！」

そして、利用者へのサービスのあり方を少しでも改善しようと思えば、提案しても、受け止めてくれないならば、やる気がなくなるのも分かります。若手のアイデアを上司が受け止め、事業所みんなが検討し、たとえその一部でも採用されれば、さらによりよい職場にしようと思えば、

事業所は利用者や職員、職員と職員、といった人間関係が生み出す「プラスアルファ」、一十一が三にも四にもなる、その不思議な化学反応の醍醐味があります。サービス提供により人が変われば、その人は隣りの人も変えていく。二人が「面白いからやろう」と声をかければ「なに、なに」と輪になってきます。

利用者の方々の日々の琴線を感じ取るスキルを獲得した支援のプロになって欲しいと思います。



短期入所事業「灯」

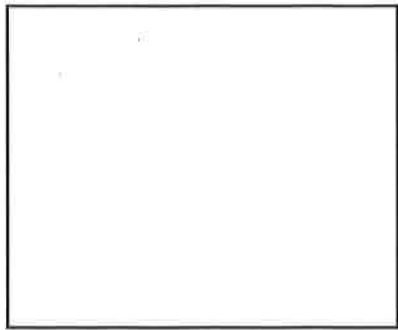
グランド西長堀

「灯」は、平成二十五年十二月一日より短期入所事業として開所しました。「将来的に一人暮らしがしたい、家族と距離を置いて気持ちを切り替えたい」目的は様々です。

「灯」は西区北堀江にある地下鉄西長堀駅改札から出て徒歩一分、中央図書館横にあります。交通の便がとても良く地下鉄の他に付近にバス停もあり、大駅や大正方面に乗り換え無しで行けます。徒歩でワークスユニオン事務所へ十五分、生活介護「和」へも十分で行くことが可能な好立地にあります。居室は3DK二室と2LDK一室を借りています。各自独立した部屋があり、プライバシーはしっかりと確保されています。ベッド、TV、収納等は各部屋に備え付けられており、トイレ、お風呂、洗濯機、冷蔵庫が共有となっています。

常駐しており側にいますので、相談や困った事があればすぐ対応できます。食事の時間は十七時半から二十時半までの好きな時間に食堂に来て食べています。職員もみんなの表情や様子をみて話したり見守りながら、毎日一緒に食べます。夕食後には、食器洗い・シート掛け・洗濯・風呂掃除などを本人の出来る範囲で職員と一緒に練習しています。その経験がやる気や自信に繋がり、家に帰った時や作業所でも自分から進んで行うようになった利用者もいます。一般的に食器洗いや洗濯等は少し手間と考

えられますが、初めてやる人にとっては興味深くやってみたいと思う人もいます。ではないでしょうか？短期に来て今まで経験出来なかつた事をしてもらい本人の喜びや楽しみとなり、それが家庭でも実践され将来的に役に立つ。そういう場所の一つとなればと考えています。



「灯」では生活力を付ける事の他に、生活の幅を広げ色々な事を知って貰う為に、夜の活動にも力を入れています。夜に活動？というとおかしな感じもするかもしれませんが、夜にしか見ることができない事もあります。野球観戦・イルミネーション・ウインドウショ

ッピングにも行っています。みんな夜に出掛けるのが物珍しいのか、乗り気になつてとても楽しみにしています。活動に行つた翌日から食事中に「とても良かったわ」「難波いったなあ」など会話も増え次は何処どこに行きたいとの声があるようになりました。短い期間の宿泊の中でも生活に楽しみを持つという事は大切な事で、明日への力になるのではないかと思っています。今後も季節に応じた活動を考えていきたいと思っています。

現在、「灯」では空き部屋がありまして。本人の自立や楽しみとして利用してみませんか？泊からでも体験できます。体験中は、職員やヘルパーと一緒にウォーキングや散歩、買い物など新しい事にも挑戦できます是非この機会に一度短期を利用してもらえたら幸いです。短期についての相談や見学会は、いつでも承りますのでお待ちしております。

(高村)

短期体験者募集中!

現在、「灯」では空き部屋がありまして。本人の自立や楽しみとして利用してみませんか？泊からでも体験できます。体験中は、職員やヘルパーと一緒にウォーキングや散歩、買い物など新しい事にも挑戦できます是非この機会に一度短期を利用してもらえたら幸いです。短期についての相談や見学会は、いつでも承りますのでお待ちしております。

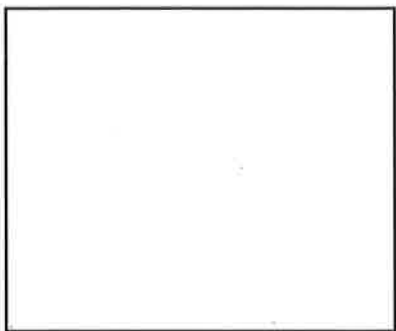
和・匠交流会

昨年十月末、事業所間の交流と、楽しく身体を動かす機会を作ることを目的に、「和」と「匠」で交流会を実施しました。スポーツフェスタや法人忘年会など、年に数回他事業所の利用者さんと会うことはあっても、事業所を跨いで交流する機会はそう多くありません。

交流会の内容は、講師にそれぞれ習っているダンスの発表と、スリーアイズという、ボールを投げてマスに入れ、ピンゴのように点数を重ねていくゲームです。ダンス発表の機会を作ることで、講師の先生の指導に引張られるように、利用者さんも日常の練習から熟が入っていききました。

当日は、初めての活動に期待と不安が入り混じった様子の利用者さんたち。

開会の挨拶が終わり、はじめのダンス発表でいきなりアクシデント発生です！「和」で一度もダンスに参



加できていなかったAさんが、相手チームのダンスに飛び入り参加しました。周りはびっくり。本人は「してやったり」といった様子で楽しそうに歌いながら踊っています。ちよつとしたが大好きなので、スリーアイズのゲームでは、勝負とあつて皆本気モードに。的を狙わないといけないのに、全力投球する利用者さんもいました。最後に表彰状が各チームに贈られ、皆で記念撮影をして今回の交流会は終了。笑つて騒いで、楽しい中で一日が過ぎていきました。また利用者さんの張り合いになるような活動の企画ができればと思います。(原)

新春運動会

年明けの一月四日、舞洲スポーツセンターにて新春運動会を開催しました。ユニオンの行事としては、初めての運動会でしたが、多くの利用者さんが参加しました。

運動会は事業所ごとのチーム戦で行われ、君が代斉唱から始まり、競技は、大玉転がし、靴飛ばし、玉入れの三種目でした。普段他の事業所と競うようなことも少ないので、皆さんここぞとばかりに気合を入れてチーム一丸となって頑張っていました。

競技中は、自分のチームに「がんばれー」「気を付けてー！」などと声援を送り、時にはルール通りに競技が進んでいないことに「今のあかんのんちやうー」と熱くなる場面もあり、皆さん真剣。

最後に職員対抗綱引きというサブライズ競技も行われ、次の日職員は全身筋肉

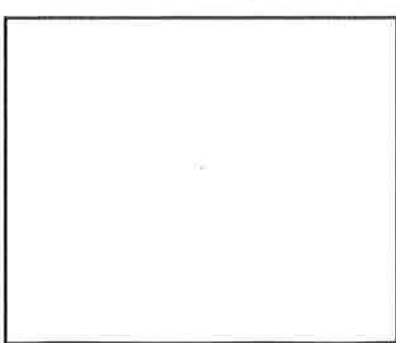
痛になったようですが、普段見られない職員同士の真剣勝負は、大いに盛り上がりました。

午後からは、初詣に出かけたり、福笑い大会やふうせんバレーを行い、新年の活動ならではの内容になっていました。

生活介護事業所「匠」の公用車更新！

利用者の送迎用として使っていた車は、長年の酷使で、故障も時々起こり、送迎用として使うには不安な状態となっていましたので、「何とか助けて。」との思いで、大阪市を通じてお願いした助成が承認され、生活介護事業所「匠」の送迎用車両の更新を「一般社団法人阪神馬主協会」並びに「公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団」の助成を受けて行いました。

これで、利用者の送迎も安心して行えます。ご助成本当にありがとうございます。



(横田)



人間にとって、一日、一週間、一ヶ月、四季、一年などの生活のリズムは重要で、そのリズムが、私たちの生活に潤いをも。たらせてくれている。

ユニオンに着任してからずっと私の大晦日は宿直で、一日かけておせちを作り、元旦におせちをつまみながら利用者さんとお屠蘇を飲んでから帰宅するのが恒例。利用者さんには、勧めもしないが、禁止もしていないのに晩酌の習慣は誰にもない。でも、年末年始はお酒も飲み放題、おせちも食べ放題などは、みんな承知で、楽しみにしている。中には、正月休の間に、数キロも成長してしまう人もいますが、これは仕方ない。

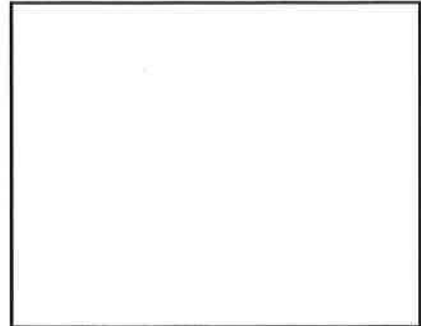
私がかまに休日に宿直に入ると、私ののんびり気分を察知し、「明日の朝は、フレンチトースト作って。」とのリクエストが飛んでくる。私も、休みの日だからまあいいかとそのリクエストに応えスープとフレンチトーストの準備をしてしま

う。後日、またカロリーの高い食事を出してとM主任のお小言は受けるのだが。

こだわりの強い利用者さんの中には、休日も関係なく定時に寸分の狂いもなく食堂に来る人も多い。それはそれで仕方のないことだが、できれば利用者さんにも休みの日には、ゆったりとした時間の流れを楽しんで欲しいと思う。

休日は職員にも、利用者が「ゆっくり食事を楽しめるような雰囲気」を醸し出す工夫や、いつもと違う献立で、利用者の休日に潤いと楽しみを添えてもらえればと考えている。

職員紹介



原口 都希子 (むーワークス係)

保育の仕事から元々やりたかった障害福祉の分野へ変わって早五年。

結婚を期に一度は非常勤職員に退きましたが、「やっぱりもっと利用者さんと関わって行きたい」と常勤に復帰しました。

保育の仕事をしていたこともあり、職員の結婚式のウェルカムボードでもよく彼女の作った傑作を見かけるほど、色画用紙等で季節にあったポップや掲示物をサツと作り上げ、利用者さんにも大好評です。

春から産休・育休でしば

らく子育てに専念しますが、育休後も支援者として復帰したいと思っているそうです。(岩本)

近藤 直美 (きー和)

昔の噂では「大阪のおばちゃんのカバンの中には『あめちゃん』が入っている」らしい。

しかし近藤姉さんのカバンの中には、囁む事は脳を活性化させると言う理由で『あめちゃん』ではなく昆布・ひじき等が入っている。そしてその活性化は事業所で大いに発揮されている。黙って座っていても四方八方、目配り・気配り、利用者さんの小さな変化にもいち早く察知しながら状況判断し支援を行っている。時には利用者だけに限らず職員の話も気長によく聞いてくれる。

休みの日には脳の活性化も休憩して大切な一人息子に癒されて下さい。(助野)

編集後記

▼短期入所は、どうしても何かあった時に利用するものと考えておられるのではないのでしょうか。▼しかし、ワークスユニオンの短期入所は、何かあった時に利用するのではなく、何かある前に利用することをお勧めします。▼たとえば、親が

元気なうちに、親元を離れた生活に慣れる場所。▼また、親も子どもから離れた生活に慣れる体験の場所として利用してほしいと思っています。▼親元を離れ、家とは違う環境で過ごす、そういった場所を創っておくことが必要だと思います。▼何かあったからでは遅すぎる。▼知らない環境に突然入れられるのは、利用者さんにとって、負担が大きすぎる。▼だから、親の元気なうちに、親離れ・子離れの体験の場所として、ワークスユニオンの短期入所をご利用ください。(M)